

野岸小だより

小諸市立野岸小学校NO.2
令和2年5月7日 発行
校長 丸山 穰

今年のサクラは、花の量も多く、見頃の期間が長かったように感じました。休校中だったので、学校のサクラをみんなで楽しむことは24日の1日しかできませんでした。しかし、久々に子どもたちの声が響く校舎で、学校らしさを取り戻した1日となりました。

国の緊急事態宣言の延長や県からの呼びかけを受けて、休校は月末まで延長されましたが、地域での感染状況や子どもたちの学習保障・心身の成長に係わる点を踏まえ、小諸市の小中学校は、分散登校の対応をとらせていただくことにしました。休校中の分散登校という形となりますので、教室内の児童数を減らし、換気をしながら授業を進めます。市教委からのプリントも併せてご覧ください。

地域の感染状況によっては完全休校となる場合もございますが、その都度メールにて連絡させていただきます。ご迷惑をおかけすることばかりで申し訳ございませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

分散登校での学習の進め方

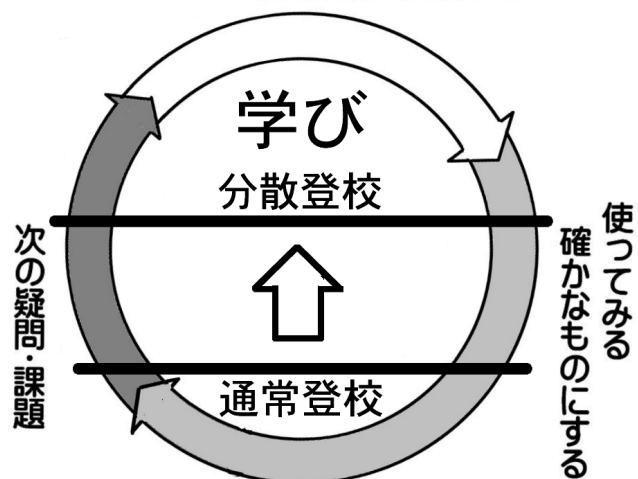
月末までは、週2日の登校となります。日数や時数が少ないので、通常登校とは少し違った授業をとらなくてなりません。右の図を見てください。

子どもたちの学習は、授業で「新しいことを考えたり、勉強したり」して、練習問題や似たような場面を想定して習ったことを「使ってみたり、確かなものにしたり」します。その中から「次の疑問や課題」が見つかって、次の時間の学習につながっていきます。このサイクルがつながって「学び」となっていきます。

通常登校の場合は、「使ってみる…」や「次の…」の部分教室でも十分とって、「使ってみる…」を宿題という形で出します。

分散登校では、「新しい…」を中心にするが多くなり、「使ってみる…」の部分は自宅で行うことが多くなります。授業を思い出ししながら、自分自身で積極的に取り組んでいかななくてはならない場面

新しいことを考える・勉強する



も増えると思います。できれば、おうちの方々には「宿題やったの?」だけではなく、「先生どんなこと
いった?」「みんなでどんなことしたの?」など、授業の様子を思い浮かべるような声がけも願いま
す。わからなかったりあやふやなことは、次の登校日に質問するなどして、そのままにしない姿勢
も重要になってきます。

先生たちも以上のような点に気をつけながら、お子さんたちに力がついていくように工夫してい
きます。よろしくお願いします。

学習以外でも大切にしたいこと

夏休みよりも長い学校休業でした。しかも、外出もできなくて不自由な生活でした。だらだらした
生活になったり、イライラしたりすることも多かったのではないのでしょうか。逆に、おうちの仕事を
手伝ってくれたり、学校でやりたいことが増えたりしていたお子さんもいたと思います。子どもたち
の様子を聞きながら、生活リズムを徐々に元に戻したり、家庭でつけた力を生かす場面をつくったり
して、意欲的に進もうとする姿勢をつくっていきたいと思っています。子どもたちにとって、周りの
環境はすべて学びにつながっています。学校休業もプラスの面が必ずあります。それを見つけて伸ば
していきたいと考えています。「こんなことがありました」「こんなこと頑張っていました」など、休業
中の様子も教えていただけるとありがたいです。

お知らせ

- ・新しい分散登校用の献立表をお配りしました。登校日によって内容にあまり差が出ないように工夫
していただきました。
- ・学校の図書館は貸し出しをしています。いろんな本をたくさん借りてください。
- ・健康チェックカードは、5月分も配布してありますので、毎日の健康チェックにお使ください。
また、登校時には、検温して記入の上、担任まで提出してください。

ありがとうございます

地域の方々からマスクのご寄付をいただき
ました。ありがとうございます。だんだんに
子どもたちに渡していきます。

- 与良館の皆様
- 市内 大池 様
- 小諸青年会議所 様
- 株式会社 Greve t 様



ウイルスに負けない体づくり

分散登校が始まったからといって、新型コロナ
ウイルスの脅威が過ぎたわけではありません。
今まで注意してきた点をもう一度確認し
て、感染防止に努
めましょう。休業
中でも、生活リズ
ムを整え、食事や
運動などにも気を
配って、ウイルス
に負けない体づく
りを意識してい
きましょう。

